

様式第4号（第15条関係）

## 会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称  
令和4年度第4回美里町生活支援体制整備協議会
  
- 2 開催日時 令和5年3月16日（木）午後1時30分から午後3時まで
  
- 3 開催場所 美里町駅東地域交流センター 大会議室
  
- 4 会議に出席した者
  - （1）委員 小野俊次会長、渡邊かおり副会長、角田フミコ委員、  
佐々木義夫委員、小川久美子委員
  
  - （2）事務局 美里町長寿支援課 横山太一、秀城百香  
美里町社会福祉協議会 永沼威雄、高橋ゆかり、田村紗希
  
- 5 議題
  - （1）開 会
  - （2）会議録署名委員の選出
  - （3）報 告
    - ①いきいき百歳体操について
    - ②生活支援コーディネーターの活動について
    - ③生活支援体制整備協議会委員研修について
    - ④美里町介護・福祉サービス事業所連絡会について
  - （4）協議事項
    - ①高齢者の社会参加について

6 会議の公開・非公開の別  
公開

7 非公開の理由

8 傍聴人の人数  
0人

9 会議の概要

(1) 会議録署名委員の選出 小野俊次会長、小川久美子委員

(2) 意見等の概要

○事務局（高橋）

○事務局（高橋）

～報告（1）から（3）について説明～

○事務局（横山）

～報告（4）について説明～

○事務局（高橋） 委員の皆さんから御意見や御質問などございませんでしょうか。

（なしの声）

では、続いて4の協議事項に入りたいと思います。

○小野会長 では4の協議事項です。高齢者の社会参加についてというテーマですが、事務局から説明をお願いします。

○事務局（高橋） 前回3回目の協議会のときに、社会参加について皆さんと話合いをさせていただきました。たくさん皆さんに御意見をいただきましたが、その際に、みさとまちおさんの周りにたくさん社会参加の機会があった時に、自分で社会参加する機会を選んで参加して、これまでの人生の中で培ってきた経験などを生かせるとよりいいねという意見が出たと思います。そしてできれば行政区などの身近な場所にそういう場所があるといいよねという話をしたと思います。

介護事業所連絡会で社会参加の話をしたときに、生活に支障が出てきて介護保険のサービスを使おうかとなったときに、元気な頃のつながりが切れやすいという課題が見えてきました。ケアマネさんからつながりが切れないように後押ししてもらえると、つながりが維持できたりするのではないか、というところも見えたところでした。元気な頃のつながりを考えたときに、行政区ではなく広い範囲でのつながりもあるのでは思いました。例えば、お友

達であったり、元職場の仲間というつながりが多いのかなというふうにも思いました。

一方で、免許返納という大きな課題もあり、免許を返納してしまうと足がなくなり、つながりを保つのが難しくなってしまうというのもあると思います。できれば身近な範囲の行政区や歩いて行ける範囲の中で、そういった社会参加をする機会があると、よりいいのかなというふうに思いました。

ただ、実際に地域のほうを見てみると、通いの場である百歳体操やお茶飲み会などに参加している方は、女性が圧倒的に多い状況です。そういった状況から、60代から70代の元気なシニア層の方々に、身近なつながりがあるととてもいいんだよということを伝える機会があったらいいと考えました。

今日は皆さんとその60代から70代の方々に何ができるかを一緒に考えたいなと思っております。「元気シニアの身近なつながり認知作戦」ということで、この身近なというのは、歩いて行ける範囲、行政区というようなイメージをしていただければと思います。元気シニアのGとつながりのTを取ってGT作戦というふうに名づけてみました。この作戦の目的が、元気な人はそのまま元気でいてほしいし、ちょっと弱ってきて、つながりの中の支え合いで、今の生活を維持してほしいという願いが込められている作戦になります。そもそも元気シニアの実態がなかなか私たちが分からないところもあるので、皆さんで知っている人を思い浮かべながら、実態を教えていただきたいなど。まずは、そこから始めたいというふうに思っております。

- 佐々木委員 私は60代ですが、60代だと皆さん仕事してますね。若いときにやってきた仕事ではない、別なのでも働いているんですよね。70歳までは仕事してますね。定年の人はそれまで勤めて、あとは畑をしたりしてますよね。
- 角田委員 趣味の多い人や趣味がある人はそうそういないと思います。男性は長い間職場にいたためか、退職すると外とのつながりが無い状態。人間関係も職場なら妥協できる場所も、地域だと気遣うのはいやだと思っている。
- 小野会長 こうやって見ると、百歳体操はいい。
- 小川委員 健康麻雀やりたいっていう方が何人かいらっしゃいます。
- 佐々木委員 男性は飲み会が楽しい。
- 小野会長 男性はなかなか落ち着ける場がない。いろんなことやって、その後のお茶っこ飲みしてもいいし、ちょっと飲むとかあってもいいと思う。そうするとコミュニケーションとれる。後日に会うと「こないだどうもね」なんて、「じゃあまたやりましょうか」っていう雰囲気になるじゃないですか。つながりが生まれやすいと思うんだよね。
- 事務局（横山） 先日70代の人を訪問したときに、「誰か俺みたいな人に教えてくれる人いっかな」とかっていう話になったので、人によってはパソコンを習いたいとか思っているんじゃないかと思いました。あと、詳しいから教えられるよみたいな人も、今だといるのではと思いました。

- 佐々木委員 パソコン講習会と飲み会を組ませたらいいかもしれないですね。
- 小川委員 令和5年度に私が講師役でLINE講座を1～2時間やります。きっかけは、地域のサークルをしている60代後半の人たちからの希望で、これを使って、孫に写真を送りたいんだけど分からないという話からでした。
- 佐々木委員 何をやりたいのって聞くことが大事ですよ。要望を持っているはずだから、そこを聞きこむってことですよ。
- 事務局（高橋） ニーズをつかむっていうのが大事なんですよ。
- 渡邊委員 ヘルパーさんだって75歳くらいまで活躍いただいています。健康に関心が高いですよ。
- 事務局（永沼） 退職した人もテレビの運転手ばかりっていう人も中にはいるけど、何かしらまだ好きなこととか、あるんじゃないのかなって思います。
- 角田委員 女性は地域の役員したり買い物に行ったりとかお友達とランチへ行くとかあるけど、男性には全然ないですよ。
- 事務局（高橋） 何か活動とかやったほうがいいんだ、地域の人たちとつながりを持ったほうがいいんだって思ってもらうためには、いいでしょうか。気持ちでは分かってるんですよ。百歳体操とか地域に出向いたときに、私たちは来ている人には百歳体操はこういう効果があるんだよとか、実際にこういういいことがあったよというのは、お伝えはできるんですけど、本当は来ている人じゃなくて、来ない人にも伝えられるとすごくいいなと思っています。どうやったらいいのかなと悩んでいます。
- 小野会長 難しいですよ。そういう人を引き出すっていうのは、俺は何もなくていい、地域に参加しないっていう人もいっぱいいます。
- 角田委員 百歳体操を今回は男性だけの回ですってやってみたらどうでしょう。
- 小野会長 碁とか将棋はどうですか。
- 事務局（高橋） やってます。土曜日に男性が20～30人来ますよ。卓球やソフトテニスも男性多いですね。
- 角田委員 私最近思ったのは、社協さんで見せてもらって、ボッチャいいなと思いました。
- 小川委員 ペタンクは割と簡単です。老人クラブでやるといいと思います。最近だとモルックに多くの参加者がいます。
- 事務局（高橋） その場に行くのに、必ず車を使ったりして行ってるのかなって思っていました。これらを行政区の集会所とかでやってもらえるようにするためには、どんな提案をしていけばいいでしょうか。
- 小野会長 こういうテーマで話し合うなんてことは、区長会は全くない。こういうテーマで地区社協で協議して提案すると、うちのほうでやってみるかななんて地区も出てくると思います。
- 佐々木委員 年齢が上がってくると、これは社協がやる事業だ等という考え

方がすごく強い。地域差はあるんだけど、私のいる地区は特にそういう考えが強いです。その体質というか、考え方を少しずつでも変えていかなければならないと思います。

○事務局（高橋） いきいき学園で学んで卒業している人たちが、行政区等の身近な場所でそういう立ち上げのリーダーになってもらおうといいですよ。

○小野会長 そうだね。

○事務局（横山） 県社協の方も、卒業後のつなぎに悩んでいるようです。県社協にやってくださいと私からお願いしました。卒業後のつながりというところは工夫したほうがいいのかと思います。

○事務局（高橋） 楽しいってところが根底にないと、何事も多分続かないのかなって思うので、楽しさ重視で、できれば身近なところで、何か新しいつながりを作ってもらえるようなきっかけづくりを今後検討できたらいいと思います。

○事務局（田村） ボッチャ等の貸出しはすぐできますね。

○事務局（高橋） ここはすぐやってみたいと思います。行動に変えてもらうためには、情報の見せ方が一番重要になってくるのではないかと思います。例えば広報誌とか、そういう媒体を使いながらということになってくるかと思います。引き続きまた皆さんの御意見をいただきながら、一緒に考えていきたいなというふうに思います。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_